

## ●教育理念●

対象のその人らしい暮らしを支えるため、「自ら学び続ける力」「考える力」「行動する力」「センシング力（現実から情報を獲得する力）」をあわせもち、看護を創造できる能力を養う。地域と明和会の保健医療を担い社会貢献できる看護実践者を育成することを理念とする

## ●教育目的●

人間を尊重し、心のこもった看護ができる実践者として地域社会に貢献する人材を育成する

## ●教育目標●

1. 看護を創造するために対象の価値観を尊重し、健康でその人らしい暮らしを理解できる
2. 対象の状況をつかみ必要な看護を考え判断し実践できる
3. 看護師としての責務を自覚し、誠実で、倫理に基づいた責任ある行動がとれる
4. 対象や暮らしの多様化に対応し保健医療チームの一員として多職種と協働できる
5. ビジョンを描き、学び続けることができる

## ●カリキュラムポリシー●

中通高等看護学院は、少子化及び高齢化の進む秋田県において、地域と明和会の保健医療の担い手として活躍できる、看護実践者を育成するために次のようなカリキュラムを編成し、実施する

1. 秋田における今後の医療動向を見据え、少子高齢化、多様化、地域医療のニーズへの対応が求められる。そのために、4つの力「自ら学び続ける力」「考える力」「行動する力」「センシング力（現実から情報を獲得する力）」を発展させながら看護実践能力を育成するカリキュラムとし、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」で構成する
2. 基礎分野・専門基礎分野は、対象のその人らしさや暮らしを理解するために、「人間理解」「人間の暮らし」「人間の健康」の3領域で科目を構成する
3. 専門分野は、看護について深く学ぶ。看護は、「対象がその人らしく暮らせるように医療の側面から支えることであり、支えるとは、対象の想いや願いを尊重し、意思決定に関わったり、対象にとって最適な援助を見出し、実践できること」である。人間・暮らし・健康を基盤として学びを深め、4つの力を発展させる
4. 地域包括ケアシステムで活躍できる人材育成に向けて、1年早期から積み上げ式に、地域と暮らしの理解、暮らしを支える看護など地域における看護を学ぶ科目を配当する。1年次から、地域へ出向き、フィールドワークを通じて人々の暮らしの理解を深める
5. 臨地実習では、4つの力と地域で暮らす生活者としての対象を軸とし、各看護学の科目を設定する
6. 実践の場に即した臨床判断能力の育成のために、シミュレーション教育やアクティブラーニングを活用する。電子テキストを導入し、ICTの活用を行う。また、意志ある学びができるようにプロジェクト学習も取り入れる。看護専門職として自己のあり方を省察する能力を身につけるために「看護リフレクション」の科目を設定する
7. 学習目標の達成度を総合的に評価するために、科目に応じた多様な評価方法を取り入れる

## ●ディプロマポリシー●（卒業認定についての方針）

### I. 自ら学び続ける力

1. よりよい看護をしたいという思いを持ち学び続けることができる
2. 自己の課題に気づき解決に向けた努力ができる
3. 自分の良さを生かし、自分の描いた未来に向かって成長することができる専門職業人として成長することができる

### II. 考える力

1. 情報と知識を照らし合わせ、判断することができる
2. その人らしい暮らしを支えるために必要な看護援助を根拠に基づき考えることができる
3. 実践した看護を振り返り、よりよい看護を考えることができる

### III. 行動する力

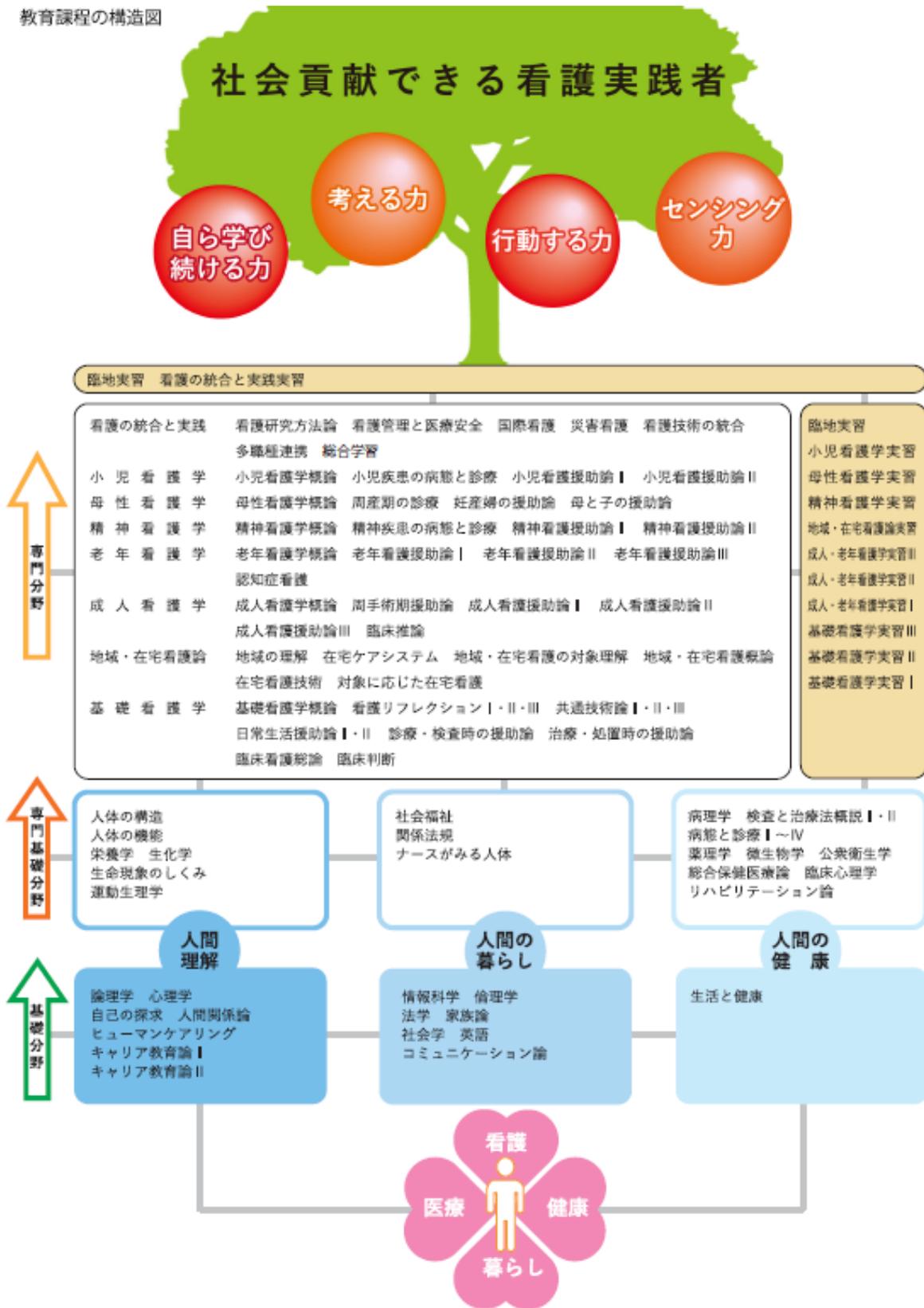
1. 自分も他人も大切にし、よりよい関係を築くことができる
2. 対象の持てる力を活かし、安全で安楽な看護が実践できる
3. チーム医療の中で看護の視点から情報を発信し、協働できる
4. 倫理に基づいた責任ある行動がとれる

### IV. 「センシング力」(現実から情報を獲得する力)

1. 対象の願いや思いを大切にし、個人として受け止め尊重できる
2. 場面・状況から事実を掴み、必要な情報を獲得できる

## 発展させたい4つの力

自ら学び続ける力	<p>学習習慣を身につけ、よりよい看護をしたいという思いと関心を持って学ぶ姿勢。これからのキャリアビジョンを描き、自分に必要な力や課題を発見し、何のために何をやり遂げたいのか明確にする力。目的を持って、自律して学ぶ力。気づいた課題について解決しようと努力する力。看護実践を通して、対象にあった看護の質を向上させること。看護の質について、実践した看護を振り返る姿勢。</p> <p>育てたい力は専門職としての責任や自律性、誠実に看護師として学び続ける姿勢、リフレクションを通して経験を価値化する力。</p>
考える力	<p>情報の意味を分析し、これまでの経験や知識と照らし合わせて思考する力。対象に最適な援助になるように判断できる力。援助の根拠を吟味できる力。考える力には情報獲得収集、思考、推察、解釈、分析などが含まれる。</p> <p>育てたい力は、省察力、批判的思考力、創造力。</p>
行動する力	<p>自分も他者も大切にし、関係性を築く力。考え、解釈、分析した根拠を明確にして対象にとって最適な方法で看護実践する。対象のその人らしさを追求し、安全・安楽な看護実践ができる力。</p> <p>育てたい力は、人間関係形成力、看護過程展開力、根拠ある看護実践力、チーム医療のなかでの多職種との協働力および調整力、指導、教育力。倫理に基づいた行動力。</p>
センシング力	<p>対象への関心と人間理解を基盤とし、願いや想い・反応を受け止める力。反応とは、心身の状況、痛みや辛さ悲しみや喜びなどの心の動き、大切にしているものであり、それらに気づき、感じ取り、看護に反映する。</p> <p>センシング力とは、状況や事実を捉える力・情報獲得力であり、獲得した情報を俯瞰し、客観的な視点から看護に反映させる。</p> <p>育てたい力は、感性、倫理観、人間理解、多様性の理解、洞察力、俯瞰力、情報獲得力、想像力。</p>



## プロジェクト学習

みなさんは、どんな学びをしたいと思い、この講義要覧(SYLLABUS)を手にしていただけますか？また、どんな看護師になりたいと考えていますか？

その“なりたい”という願いが、学ぶ原動力です。

みなさんが“こうなりたい”と描く未来に向かい成長し、意志ある学びをするために、2020年度からプロジェクト学習を取り入れた科目を設定しました。

プロジェクト学習とは、「何のために」「何をやり遂げたいのか」、ビジョン(目的)とゴール(目標)を明確にし、ありたい未来を描き、ゴールへ向かうプロセスで課題解決力を身につける学習手法です。ゴールに向かう過程で、看護師に求められる課題発見力・目標設定力・計画する力・状況を見極める力・表現する力・コミュニケーション力などが身につきます。

講義要覧(SYLLABUS)には「プロジェクト学習」と記載されている授業科目があります。そこには、プロジェクト学習・シラバスが掲載されています。

さあ！一緒に“意志ある学び”を叶えていきましょう！！

### ■ゴールシート

**ゴール**  
(具体的な目標)

年 月

理由

記入日 年 月 日

氏名

© シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敬恵

設計・指導：鈴木敬憲

